

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	こどもリハビリテーション支援専攻科	科 目 区 分	その他	授業の方法	実習
科 目 名	ボランティア実習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	こどもリハビリテーション支援専攻科	学 期	通年	教室名	
担 当 教 員	辻 いづみ				
実務経験と その関連資格	理学療法士として一般病院、クリニックに勤務。医療安全管理学修士。認定理学療法士(学校教育)。				
《授業科目における学習内容》					
児童養護施設・保育園・放課後等デイサービスでこどもと関わり、こどもへの対応、応用力を身に付けることができる。					
《成績評価の方法と基準》					
実習評価等、複合評価					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
自身の持つ教科書等の資料					
《授業外における学習方法》					
専門職の視点だけではなく、こどもと関わる業種がどのようにこどもと接しているのか、職域の理解が大切になりますので、どのような仕事があるか調べてください。					
《履修に当たっての留意点》					
こどもと関わることを意識し行動してください。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討	
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。			
第2回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討	
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。			
第3回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討	
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。			
第4回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討	
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。			
第5回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討	
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第7回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第8回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第9回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第10回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第11回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第12回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第13回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第14回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第15回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	こどもリハビリテーション支援専攻科	科 目 区 分	その他	授業の方法	実習
科 目 名	ボランティア実習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	こどもリハビリテーション支援専攻科	学 期	通年	教室名	0
担 当 教 員	辻 いづみ				
実務経験と その関連資格	理学療法士として一般病院、クリニックに勤務。医療安全管理学修士。認定理学療法士(学校教育)。				
《授業科目における学習内容》					
児童養護施設・保育園・放課後等デイサービスでこどもと関わり、こどもへの対応、応用力を身に付けることができる。					
《成績評価の方法と基準》					
実習評価等、複合評価					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
自身の持つ教科書等の資料					
《授業外における学習方法》					
専門職の視点だけではなく、こどもと関わる業種がどのようにこどもと接しているのか、職域の理解が大切になりますので、どのような仕事があるか調べてください。					
《履修に当たっての留意点》					
こどもと関わることを意識し行動してください。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討	
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。			
第17回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討	
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。			
第18回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討	
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。			
第19回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討	
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。			
第20回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討	
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 2 1 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第 2 2 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第 2 3 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第 2 4 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第 2 5 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第 2 6 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第 2 7 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第 2 8 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第 2 9 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第 3 0 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	こどもリハビリテーション支援専攻科	科 目 区 分	その他	授業の方法	実習
科 目 名	ボランティア実習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	こどもリハビリテーション支援専攻科	学 期	通年	教室名	0
担 当 教 員	辻 いづみ				
実務経験と その関連資格	理学療法士として一般病院、クリニックに勤務。医療安全管理学修士。認定理学療法士(学校教育)。				
《授業科目における学習内容》					
児童養護施設・保育園・放課後等デイサービスでこどもと関わり、こどもへの対応、応用力を身に付けることができる。					
《成績評価の方法と基準》					
実習評価等、複合評価					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
自身の持つ教科書等の資料					
《授業外における学習方法》					
専門職の視点だけではなく、こどもと関わる業種がどのようにこどもと接しているのか、職域の理解が大切になりますので、どのような仕事があるか調べてください。					
《履修に当たっての留意点》					
こどもと関わることを意識し行動してください。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第 3 1 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討	
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。			
第 3 2 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討	
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。			
第 3 3 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討	
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。			
第 3 4 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討	
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。			
第 3 5 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討	
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 3 6 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第 3 7 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第 3 8 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第 3 9 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第 4 0 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第 4 1 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第 4 2 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第 4 3 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第 4 4 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第 4 5 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	こどもリハビリテーション支援専攻科	科 目 区 分	その他	授業の方法	実習
科 目 名	ボランティア実習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	120 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	こどもリハビリテーション支援専攻科	学 期	通年	教室名	0
担 当 教 員	辻 いづみ				
実務経験と その関連資格	理学療法士として一般病院、クリニックに勤務。医療安全管理学修士。認定理学療法士(学校教育)。				
《授業科目における学習内容》					
児童養護施設・保育園・放課後等デイサービスでこどもと関わり、こどもへの対応、応用力を身に付けることができる。					
《成績評価の方法と基準》					
実習評価等、複合評価					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
自身の持つ教科書等の資料					
《授業外における学習方法》					
専門職の視点だけではなく、こどもと関わる業種がどのようにこどもと接しているのか、職域の理解が大切になりますので、どのような仕事があるか調べてください。					
《履修に当たっての留意点》					
こどもと関わることを意識し行動してください。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第 4 6 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討	
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。			
第 4 7 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討	
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。			
第 4 8 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討	
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。			
第 4 9 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討	
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。			
第 5 0 回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討	
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第51回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第52回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第53回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第54回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第55回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第56回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第57回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第58回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第59回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		
第60回	授業を通じての到達目標	児童養護施設等でこどもとの関わり方を学び、行動することができる	自身の持つ教科書等の資料	課外活動振り返りで次回の実施内容を教員と検討
	各コマにおける授業予定	各種施設にて専門職として関わる。イベント等の実施。		